

．あとかき

江戸時代の末から始められた勇払平野の開発は、蝦夷地と呼ばれた北海道の発展の大きな礎となりました。砂堆を掘り込んで建設された大規模港湾は、この地域を道内有数の工業と流通の拠点都市に押し上げました。その一方で湿原をはじめとする自然が失われてきました。

21世紀は環境の時代といわれ、私たちは、すぐれた自然環境をどのように保全、再生し持続的に利用していくかという大きな課題に直面しています。本文にも記述しましたが、北海道の湿原の大きな特色である泥炭の形成は、年間1mm程度といわれています。1mの泥炭が形成されるには、1000年という実に長い時間を要します。

本調査では、湖沼調査、土地利用調査、地形調査という、これまで国土地理院が行ってきた地理調査の技術や情報の蓄積を活用して、主に地理的側面からウトナイ湖の湖沼データや勇払平野の土地利用・地形データをまとめました。この調査結果は、GISデータとして提供することも予定しています。

本調査で得られたデータを基礎資料として、動植物調査や水質・気候等の環境調査などと相まって、自然と共生する地域づくりに活用されることを期待します。

調査に際して、北海道室蘭土木現業所、苫小牧市、千歳市、早来町、厚真町、(株)苫東、苫小牧港開発(株)、北海道開発局石狩川開発建設部千歳川河川事務所、同室蘭開発建設部、その他関係機関よりボーリングデータや都市計画図をはじめ各種資料を提供していただきました。また、ウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンター、ウトナイ湖野生鳥獣保護センター、苫小牧市博物館、その他多くの方より貴重な助言をいただきました。以上の方々に深く感謝いたします。

なお、本調査は地理調査部地理第二課(当時)及び環境地理課(2002年度組織改編により発足)が担当し、次のとおり作業を行いました。

計画指導	地理第二課長	関口民雄
	環境地理課長	中島秀敏
	環境地理課長補佐	内川講二

現地調査及び編集・報告書作成

ウトナイ湖湖沼調査(1999年) 稲沢保行、羽生栄、小澤安二(以上地理第二課)

湖沼湿原調査検討作業現地調査(2001年)

田中幸生、大井信三、稲沢保行、小澤安二(以上地理第二課)

湖沼湿原調査現地調査及び編集・報告書(2002～2003年度)

安藤久満、山根清一、齋藤俊信、松元拓朗(以上環境地理課)

本報告書に使用した地形図等は、国土地理院が発行している2万5千分1地形図、5万分1地形図、20万分1地勢図及び国土地理院が作成した旧版地形図です。また、使用した写真は、国土地理院撮影の空中写真、国土地理院が保有する米軍撮影の空中写真及び現地調査等で撮影したものです。

2004年3月

国土地理院地理調査部環境地理課

参考文献

- 赤松守雄(2003)：北海道の自然史，北方新書 005，北海道出版企画センター，282p．
- 池田国昭・羽坂俊一・村瀬正(1995)：北海道勇払平野の完新統分布と地形発達，地質調査所月報，第46巻，第6号，p.283-300．
- 池田安隆・今泉俊文・東郷正美・平川一臣・宮内崇裕・佐藤比呂志(2002)：第四紀逆断層アトラス，東京大学出版会，254p．
- 加藤誠・勝井義雄・北川芳男・松井愈(1990)：日本の地質 1 北海道地方，共立出版，337p．
- 小疇尚・野上道男・小野有五・平川一臣(2003)：日本の地形 2 北海道，東京大学出版会，359p．
- 小池一之・町田洋(2001)：日本の海成段丘アトラス，東京大学出版会，122p．
- 阪口豊(1974)：泥炭地の地学 - 環境の変化を探る - ，東京大学出版会，329p．
- 曾屋龍典・佐藤博之(1980)：千歳地域の地質，地域地質研究報告(5万分の1図幅)，地質調査所，92p．
- 地質調査所(1972)：20万分の1地質図幅「苫小牧」．
- 地質調査所(1980)：20万分の1地質図幅「札幌」．
- 地質調査所(2001)：北海道地質ガイド(CD-ROM版)．
- 苫小牧市(1975)：苫小牧市史 上巻，1906p．
- 中田高・今泉俊文(2002)：活断層詳細デジタルマップ，東京大学出版会．
- 平川一臣・越後智雄(2002)：石狩低地帯南部・馬追丘陵西縁の伏在活構造に関わる地形の変形，活断層研究，22号，p.63-66．
- 富士田裕子・高田雅之・金子正美(1997)：北海道の現存湿原リスト，北海道湿原研究グループ編，財団法人自然保護助成基金1994・1995年度研究助成報告書 北海道の湿原の変遷と現状の解析 - 湿原の保護を進めるために - ，財団法人自然保護助成基金，p.3-14．
- 北海道(1996)：苫小牧東部地域に係る環境影響評価書(確定)，418p．
- 北海道保健環境部(1992)：美々川流域の自然環境の資質と現状(美々川流域自然環境調査報告書)，133p．
- 北海道室蘭土木現業所苫小牧出張所(2003)：平成15年度美々川自然再生事業地域説明会資料．
- 町田洋・新井房夫(2003)：新編 火山灰アトラス，東京大学出版会，360p．
- 茂木昭夫(1964)：北海道勇払沖海底の沈水地形，第四紀研究，第13巻，第3号，p.145-152．
- Moriwaki,H.(1982)：Geomorphic development of Holocene coastal plains in Japan, Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, vol.17, p.1-42．
- 矢部和夫(1993)：北海道の湿原，東正剛・安部永・辻井達一編，生態学からみた北海道，北海道大学図書刊行会，p.40-52．
- 米倉伸之・貝塚爽平・野上道男・鎮西清高(2001)：日本の地形 1 総説，東京大学出版会，349p．

(五十音順)